

新市エリアのコンセプト

城島エリア

筑後川とクリークなど豊かな水辺環境とフラットな地形を活かしたゆとりと潤いあふれる農業・居住環境の創出、また酒造業・粘土瓦製造業などの地場産業振興と企業誘致の推進を図り、農業と工業のバランスのとれたまちづくりに取り組めます。

久留米エリア

全国的にも有数の集積された高度医療機関、久留米大学などの高等教育機関及び農林業、生物食品等の研究機関、さらには蓄積した都市施設や機能を活かして、医療・福祉・教育・研究・商業等の機能を担うまちづくりに取り組めます。

北野エリア

肥沃な土壌と豊かな水がもたらす県内有数の野菜生産地としての都市近郊型農業の振興を図り、2つの高速道路へのアクセスの良さ及び「コスモス街道」などの観光資源を活かして、「人」の交流・ゆとりと潤いのあるまちづくりに取り組めます。

田主丸エリア

これまで培ってきた植木・苗木や巨峰・柿を中心とした果樹など「緑」の供給基地としての機能をさらに高めるとともに、企業誘致や観光振興施策等を積極的に推進するなど、豊かな自然と人々の生活が調和した定住地域をめざし、市東部における副都心として活力あふれるまちづくりに取り組めます。

上陽エリア

ゲンジボタルの舞う清流や石橋群、県内随一の森林の緑など貴重な地域資源と景観、加えて交流拠点施設「ほたと石橋の館」及び「ふるさとわらべ館」を活かして、市全域・福岡都市圏などの地域交流を担うまちづくりに取り組めます。

三潅エリア

広域幹線道路と西鉄天神大牟田線など公共交通機関を活かした交通ネットワークの形成による快適かつ利便性のある居住地機能、さらには都市型農業として、高付加価値のある農産物・農産加工品の供給機能を有するまちづくりに取り組めます。

八女エリア

全国ブランドの八女茶や電照菊を中心とした農産品、仏壇・提灯などの伝統工芸及び八女福島の町なみや健康増進施設「べんがら村」を活かして、市南部における農産品の生産拠点・「人」の交流の中心を担うまちづくりに取り組めます。

広川エリア

広川インターチェンジを中心とした広域道路交通網の形成による工業生産・流通などの拠点機能の拡充、久留米餅など伝統の継承と地域文化の源泉としての農業のさらなる振興により多様な都市機能を併せ持つまちづくりに取り組めます。

連携する都市づくり

合併後、各エリアの地域特性を尊重すると共に、そのポテンシャルを相乗的に活かす取り組みを行います。その具体的な取り組みの一例を紹介します。

1. 観光資源の有機的連携

広域的周遊観光ルートを開発、効果的なPRを行います。

- 八女エリアの伝統工芸・八女福島の町なみ・「べんがら村」などと、広川エリアの久留米かすり工房、古墳群、上陽エリアのホタルと石橋、田主丸エリアの観光農園、北野エリアのコスモス街道を周遊する観光ルートを設定します。
- 久留米エリアの石橋美術館、坂本繁二郎生家やアトリエ、青木繁旧居、また八女エリアの坂本繁二郎各種資料やイベントなど、アートロードを設定します。
- 城島・三潅エリアの酒造・伝統工芸品や久留米東部・田主丸エリアの花弁・植木等の緑化産業を含めた食や体験型の観光開発を行います。

2. 緑化産業の集積

市場動向に反映した生産活動の支援ができます。

- 田主丸エリアと久留米エリアの東部地域が一緒になることで今まで以上に花卉・植木産地のイメージアップが図られ、マーケット情報や顧客ニーズに対応できる地区が形成されます。
- 北野エリア、久留米エリアの北部地域では、市場調査や市場開発により多品目の新鮮な野菜等を供給する都市近郊型農業をさらに進めます。

3. 居住環境の整備促進

合併特例債などにより重点的な投資ができます。

- 居住環境の基盤整備として、合併特例債などの重点的な投資により、公共下水道等の早期整備を行います。